



## 1 学期も折り返し地点です

1 学期も2ヵ月過ぎ、早くも折り返し地点に到達しました。5月号でお伝えした、今年度の本校の重点取組の内、6月号では「知」の取組についての進捗状況を報告します。

### 【知の取組： ①研究授業・研究協議を実施し、授業改善を図っていく】

令和5年11月10日に、浅口市内の小学校の全教員が一同に集う研究発表会が予定されています。令和5年度は、本校が研究指定校となっており、この研究発表会に向けて、以下のテーマにて算数科の授業研究を進めています。

研究テーマ「えっ、なんで？」がうまれる算数科の授業づくり ～課題提示や発問の工夫を通じて～

本校教員向け指導者としては、外部講師として環太平洋大学の前田一誠教授にご指導を仰ぐことにしています。前田先生は、現在、子どもたちが使用している算数の教科書（東京書籍）の執筆者でもあり、また、岡山県内外で、多数の小学校の校内研究を指導されていることから、本校の教員向けにたくさんの気づきを与える指導や助言を下さっています。

5月19日に令和5年第一回目の研究授業を3年生、5年生で実施し、教師の課題提示の仕方や子どもたちをやる気にさせる発問の工夫について、活発な議論が交わされました。第二回目の研究授業は、6月16日を予定しており、教員の研究意欲が高まっています。前田先生、ご指導有難うございました。



### 【知の取組： ②基礎学力定着に向けた取組として、朝の時間や放課後学習の有効活用】

朝の時間（8:15～8:30）の使い方には色々なご意見があるかと思いますが、本校では、基礎学力定着に向けてドリル学習で問題の量をこなす曜日と、読書で気持ちを整えて授業に向かう曜日を使い分けています。全学年とも火曜と金曜は算数のドリル学習の日決めており、「15分みっちり」と学習できるように進めています。

また、3～6年生の希望者を対象とした放課後学習では、今年度は東京書籍のプリントひろばを用いて、「たしかめテスト」を実施しています。きほん・たしかめ・チャレンジの3段階の難易度別にプリントが用意されており、現在は、レベル2のたしかめテストから取り組んでいます。たしかめテストでは、100点を目標に進め、1問でも間違えると、きほんテストに戻って学習する流れにしています。今年度の放課後学習は、教頭・放課後学習支援員・校長の3名で運営し、3～4回/月、月曜・木曜の放課後に開催しています。

授業・朝学・家庭学習・放課後学習のサイクルが回り、学力定着に向けて進めていけるよう進めていきたいと思っています。家庭学習については、保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。